

# ご挨拶

—— 公益社団法人への移行にあたって ——

公益社団法人 東京社会福祉士会  
代表理事・会長 大輪 典子

本会は、平成 25 年 4 月 1 日に、公益社団法人として新たにスタートいたしました。そして、このたび代表理事・会長に就任させていただくことになりました。2 年間の任期を全うできるよう誠心誠意努めて参ります。どうぞよろしくお願ひいたします。

公益法人として新たにスタートするにあたり、平成 25 年度は、本会として、次の 3 つの事業計画を進めていくことが総会で承認されました。

一つ目は、公益社団化に伴い、組織運営の強化です。法人事務局としての体制づくりを行い、公平性と透明性のある組織運営を行ってきます。理事会と事務局がしっかりコミュニケーションを取り合い進めて参ります。25 年度中には現状の組織運営に合ったしっかりとした公益社団法人としての規程類の整備を行います。

二つ目は、生涯研修センターの設置と基盤整備です。「新生涯研修制度」と「認定社会福祉士制度」を進めていくにあたり、生涯研修センターを設置し、研修体系を整えていきます。25 年度は日本社会福祉士会から委託を受けた、基礎研修Ⅰ及び基礎研修Ⅱを開催いたします。また、各センターや委員会、地区ブロック、地区会で行っている研修等を確認し、東京独自で行う独自研修の整備を行っていきます。

公益社団法人として活動する本会として、住民や福祉専門職への研修、講演会及び支援活動は重要です。今後ますます各センターや委員会、地区会と連携して研修事業の充実を図っていくために、基盤整備をしっかりと行っていきます。

三つ目は、事務所移転です。現在の事務所のある全国財団ビルが、平成 25 年度中に取り壊しこととなるため、バリアフリーはもとより、みなさんの活動が、より活発にできることを考え、事務所の移転を行います。

これらの組織運営や事業を行うことは、決して平坦な道のりでは、ありません。「利用者の利益を最優先に」ということを忘れず、「より良い解決方法を目指す」ということを大切にして進めていきたいと考えます。

会員からの声に耳を傾け、各センターと委員会、地区会、そして理事会と事務局が一丸となって、公益社団法人としての新たなミッションと礎を一緒につくっていただけるように努めて参ります。「社会福祉士が、是非必要」という声が、本会に届くように頑張っていきたいと思ひます。どうか、皆様のお力添えをお願ひいたします。